

地域公共交通確保維持改善事業に関する自己評価(一次評価)結果報告

平成 年 月 日

協議会名:	弥富市地域公共交通活性化協議会
-------	-----------------

実施事業:	確保維持事業				バリア解消促進等事業			調査等事業		
	幹線	フィーダー	離島航路	離島航空路	バリアフリー	利用環境改善	鉄道安全	調査	再編調査	協働推進
		○								

※実施した事業に○をつけてください。

地域の交通の目指す姿:	市民生活と地域を支える持続可能な地域公共交通の確保・維持
-------------	------------------------------

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

平成 年 月 日

協議会名: 弥富市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 陸上交通に係る地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通ネットワーク計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通ネットワーク計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
三重交通(株)	弥富市内を巡回する3路線(北部ルート、東部ルート、南部ルート)を運行し、各ルートとも近鉄弥富駅やイオンタウン、総合福祉センター等の主要な施設にアクセス。また、東部ルートは飛島公共交通バス蟹江線と一部バス停を共有。	昨年度の事業結果を踏まえ、平成25年10月に下記のダイヤ改正を実施 →北部ルートの朝・夕の時間帯の利用の少ない便の削減(効率的な運行) →飛島公共交通バス蟹江線に合わせた、東部ルートのダイヤ変更(乗り継ぎ利便性の向上)	A 計画通り、モニタリング調査(利用者アンケート)を実施し、できる限り利用実態やニーズの把握に努めた。また、協議会を計4回開催するとともに、広報誌や市HPで調査結果の情報提供に努めており、適切に実施している。	B 【満足度の向上】 ・モニタリング調査(利用者アンケート)による満足度の前年度からの向上を目標とし、満足度が上昇⇒40.3%→44.4% (「非常に満足」「やや満足」の割合) 【1便当たり乗車人員数の増加】 ・1便当たり乗車人員数の前年度からの増加を目標とし、全体としては増加したが、ルートにより減少 ⇒全 体:7.1人/便→7.9人/便 ⇒北部ルート:5.0人/便→6.8人/便 ⇒南部ルート:9.3人/便→9.2人/便 ⇒東部ルート:6.8人/便→6.7人/便	【事業の今後の改善点】 ●将来を見据えた、公共交通による生活交通サービスの確保・維持 →公共交通の必要性に関する共通認識の醸成、車両のバリアフリー化、環境対応車両の導入 ●ニーズに即した運行改善 →地域特性や利用特性(ニーズ)に応じた運行改善、車両サイズ見直し、乗り継ぎ改善、市役所本庁舎機能移転期間の運行方法検討 ●適切で継続的な情報提供による利用促進 →分かりやすい情報提供、継続的な利用促進策の展開と周知 ●地域で守り育てる体制の展開検討 →サポート体制の継続的展開、地域協働の取り組み促進 ●次のステップに向けた新たな目標と計画 →新たな地域公共交通総合連携計画の策定 【目標】 ・利用者満足度の向上 ・1便当たり乗車人員数の維持・増加

平成21年7月10日設置

フィーダー系統

平成25年6月24日NW計画策定

弥富市地域公共交通活性化協議会

①協議会が目指す方向性(Plan)

地域の特性

●市内の公共交通

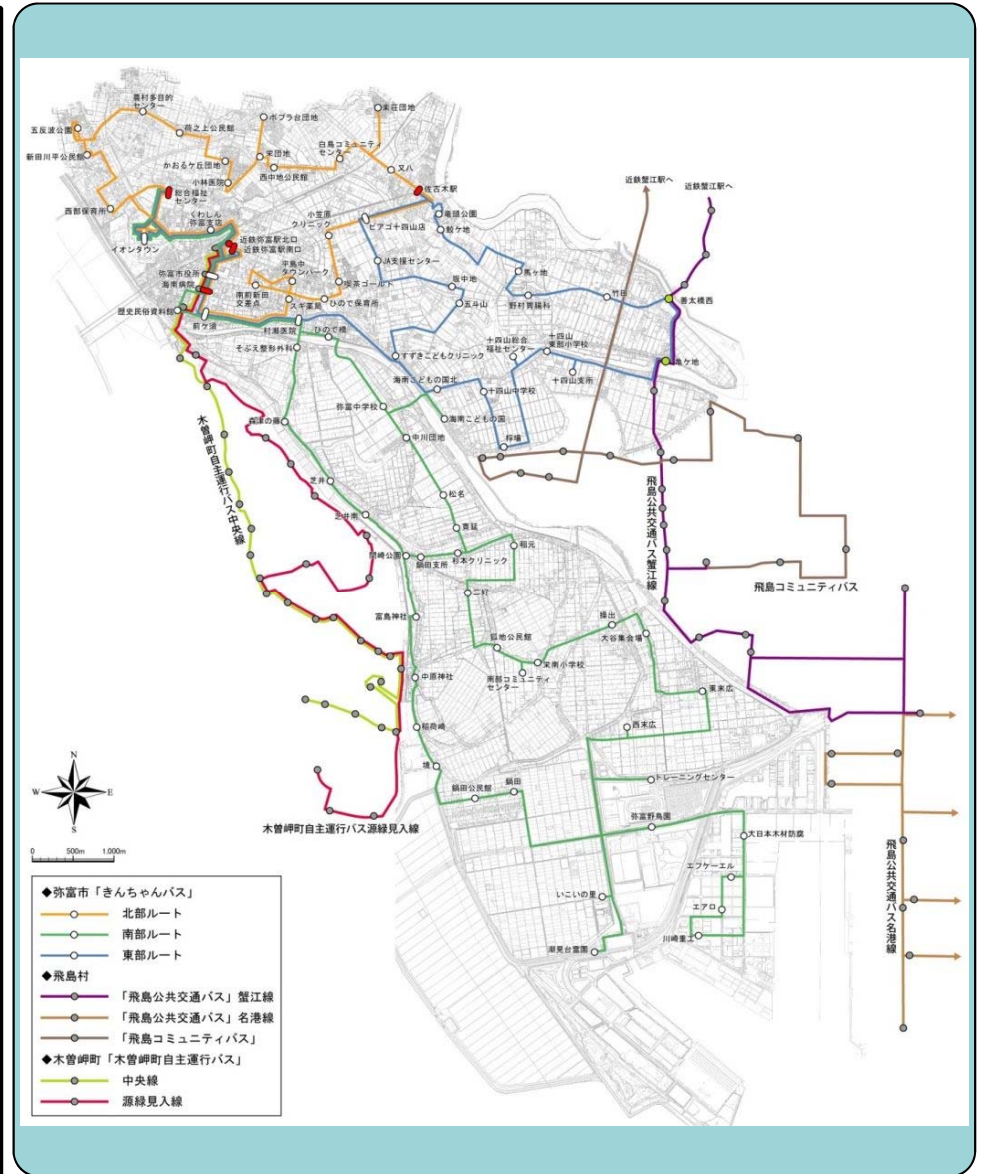
・JR関西本線(JR弥富駅)、近鉄名古屋本線(近鉄弥富駅、佐古木駅)が東西に横断し、名鉄尾西線(名鉄弥富駅、五之三駅)が北進しているが、大部分の公共交通サービスはバスが担う。

●市内のバス交通の歴史

- ・H11.1 無料巡回福祉バス運行開始(60歳以上)
- ・H11.4 無料巡回福祉バスの年齢制限を撤廃
- ・H14.2 市内を運行する路線バス3系統廃止
- ・H17.3 近鉄弥富駅と蟹江駅とを結ぶ路線バスについて、弥富市内の区間を廃止
- ・H17.6 無料巡回福祉バスを近鉄弥富駅まで延伸
- ・H18.4 十四山村との合併に伴い、十四山地区での無料巡回福祉バスの運行開始
- ・H21.7 「弥富市地域公共交通活性化協議会」発足
- ・H22.3 「弥富市地域公共交通総合連携計画」策定
⇒市内バス運行の改善・充実、高齢者等の移動制約者の交通手段を確保
- ・H22.6 無料巡回福祉バス廃止、コミュニティバス実証運行開始
- ・H24.4 実証運行を終了し、本格運行へと移行(運行ルート・ダイヤ変更)
- ・H25.10 運行ダイヤ変更

総合計画・都市計画マスタープランにおけるバスの位置づけ

- 市民の日々の暮らしにおける移動手段としての利便性向上はもとより、地球温暖化の抑制に向けたCO2の削減、高齢者等の外出機会の支援なども見据え、**地域公共交通サービスの充実**を図るものとし、**効率的かつ適正な運行体制を検討し、利用者サービスの向上や運行ルートの充実**に努める。



②地域公共交通に関する具体的取り組み及びそのプロセス(Do)

平成25年度

- 利用者実態調査、モニタリング調査の実施
- 無料お試し乗車券の配布
- サイクル&バスライド駐輪場の設置
- 運行改善方策の検討 等

弥富市地域公共交通活性化協議会(計4回開催)

平成26年度

平成25年10月 1日 **新ダイヤでの運行開始** … ①朝・夕時間帯の減便 ②東部ルート of 飛島公共交通バス蟹江線のダイヤに合わせた変更
サイクル&バスライド駐輪場増設 … 4箇所→6箇所へ

平成26年 2月 7日 **平成25年度 第3回弥富市地域公共交通活性化協議会**
①地域公共交通の現状分析等(利用実態調査結果、バス停乗降者数調査結果、住民・利用者アンケート調査結果等)
②弥富市地域公共交通総合連携計画の見直しについて 等

平成26年 3月19日 **平成25年度 第4回弥富市地域公共交通活性化協議会**
①弥富市地域公共交通総合連携計画の見直しについて ②次年度事業計画 等

平成26年 6月20日 **平成26年度 第1回弥富市地域公共交通活性化協議会**
①乗車実績の状況 ②収支(運行経費・収入)、無料パスカード発行、福祉タクシーの状況 ③運行改善方策の検討(案) 等

平成26年7月 7日～7月12日 **バス停乗降者数調査実施** … 期間中に運行する全便で実施(利用者にアンケートを兼ねたシールタイプ^oの調査票を配布)
⇒回収1,349人(乗車実績(1,373人)に対する回収率98.3%) ※OD調査

平成26年7月14日～7月31日 **利用者アンケート実施** … バス利用者 ⇒回収252人 ※予約制運行の導入に関するアンケート

平成26年8月 1日～8月30日 **無料お試し乗車券の配布** … 7月広報にて利用促進を呼びかけ、一緒に全戸配布
利用条件:無料お試し乗車券裏面のアンケート回答 ⇒利用1,033枚

平成27年度

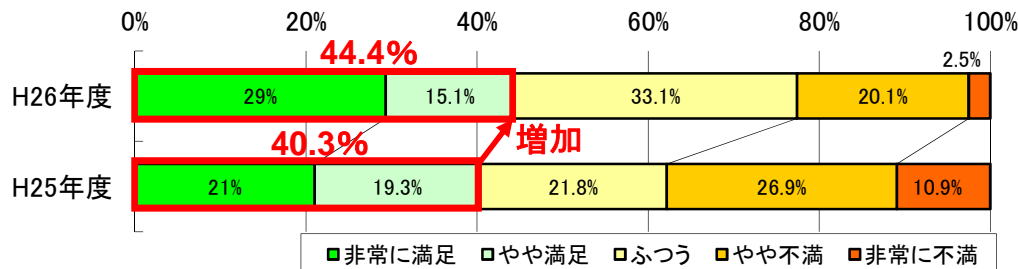
平成26年12月 8日 **平成26年度 第2回弥富市地域公共交通活性化協議会**
①地域公共交通の現状分析等(利用実態調査結果、バス停乗降者数調査結果、住民・利用者アンケート調査結果等)
②事後・自己評価 等

③地域公共交通に関する具体的取り組みに対する評価(Check)

NW計画における目標

①満足度の向上

⇒利用者アンケートにおける満足度のうち、「非常に満足」、「やや満足」の割合がH25年度を上回る



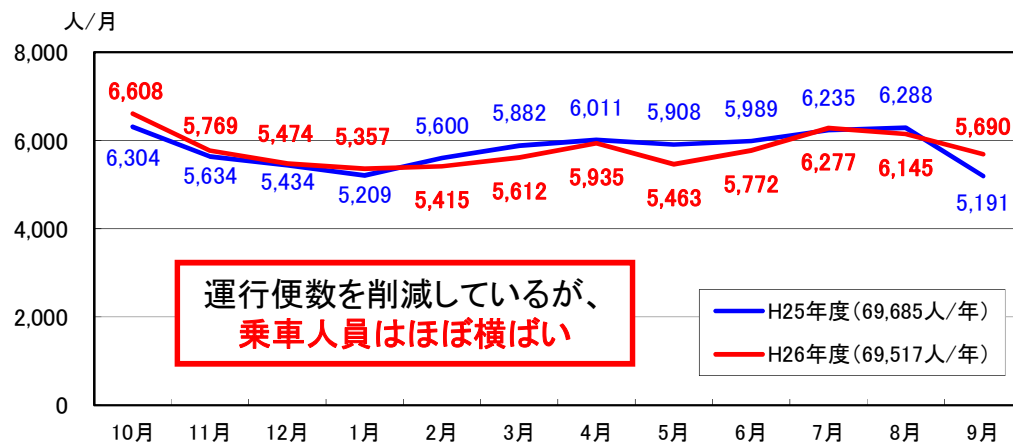
②1便当たり乗車人員数の増加

⇒全体ではH25年度を上回る

	H25年度 H24.10~H25.9	H26年度 H25.10~H26.9	H24からH25への 増減
全体	7.1	7.9	+0.8 ←増加
北部ルート	5.0	6.8	+1.8
南部ルート	9.3	9.2	-0.1
東部ルート	6.8	6.7	-0.1
平日	7.0	7.9	+0.9 ←増加
北部ルート	5.0	6.8	+1.8
南部ルート	9.0	9.0	-0.0
東部ルート	6.6	6.6	+0.0
休日	7.9	8.1	+0.2 ←増加
北部ルート	5.1	6.5	+1.5
南部ルート	11.3	10.2	-1.1
東部ルート	8.2	7.2	-1.0

	H25年度 H24.10~H25.9	H26年度 H25.10~H26.9	H24からH25への 増減
年間運行便数(便)	9,849	8,814	-1,035
平日	8,575	7,564	-1,011
休日	1,274	1,250	-24

③乗車人員の推移



④その他

●利用者の多くは高齢者

→利用者の7~8割は65歳以上の高齢者 ※乗車実績、バス停乗降者数調査より

●周辺自治体が運行するバスへの乗り換え利用は少ない

→調査期間(1週間)で、木曾岬町自主運行バスとの乗り継ぎは多少見られたが、バス停を共有する東部ルートと飛鳥公共交通バス蟹江線との乗り継ぎがない ※バス停乗降者数調査より

●複数の周知・利用促進策を実施

→75歳以上には無料でバスを利用できる「無料パスカード」を配布
 →定期券や回数券のほか、65歳以上には「シルバーパス」を販売(半額定期)
 →「サイクル&バスライド駐輪場」として、市内の主要な公共施設6箇所をバス利用者に開放
 →無料お試し乗車券を全戸及び小学生を対象に配布(次項参照)
 →全戸配布している時刻表に近鉄やと飛鳥公共交通バス蟹江線との乗り継ぎダイヤを記載

●不満の理由の多くは「本数が少ない」「朝や夕の便がない」

→きんちゃんバスに不満な理由としては、「本数が少ない」「朝や夕の便がない」が多く、その他には「バス停がない・遠い」「運賃が高い」なども多い ※利用者アンケートより

●今後も現在の運行を望む人が多い

→運行費用と利便性のバランスについて、今後も現在の運行を望む人が半数以上 ※利用者アンケートより

④自己評価から得られた課題とその対応(Action)

将来を見据えた、公共交通による生活交通サービスの確保・維持

- ・高齢化の進展に伴い、自動車を運転できなくなる人も増加すると考えられることから、公共交通の必要性について共通の認識を持ち、持続性のある生活交通サービスとして維持・確保していくことが必要
- ・利用者の多くが高齢者であることも踏まえ、車両サイズの見直しにおいては、バリアフリー対応の車両導入が必要
- ・車に過度に頼らず、環境負荷の低減(CO2削減)を図るために、車両サイズの見直しにおいては、環境対応の車両導入が必要
- 公共交通の必要性に関する共通認識の醸成
- 車両のバリアフリー化 ●環境対応車両の導入

ニーズに即した運行改善

- ・地域(ルート)により、利用目的が異なるなど、それぞれの特性を加味したさらなる効率的な改善が必要
- ・利用実態を踏まえたバス車両の更新が必要
- ・乗り継ぎが少ないなど、きんちゃんバス相互や周辺自治体との連携を視野に入れた運行改善の検討が必要
- ・福祉タクシー利用者は、1人での移動に制約のある方が多く、現状のきんちゃんバスの利用は困難
- ・市役所本庁舎の機能移転期間の運行方法の検討が必要
- 地域特性や利用特性(ニーズ)に応じた運行改善 ●車両サイズ見直し ●乗り継ぎ改善
- 市役所本庁舎機能移転期間の運行方法検討

適切で継続的な情報提供による利用促進

- ・現在展開している施策の周知のほか、きんちゃんバスの果たす役割やメリットについて啓発し、さらなる利用促進を図ることが必要
- ・鉄道(近鉄)、福祉センター、イオン利用者などターゲットを明確にした利用促進活動の検討が必要
- ・現在展開している利用促進策などの継続的な展開と周知が必要
- 分かりやすい情報提供 ●継続的な利用促進策の展開と周知

地域で守り育てる体制の展開検討

- ・商業施設や病院、企業による協力、地域におけるサポートの継続的展開が必要
- ・財政的には厳しい状況は変わらないため、地域の集まりの場や協議会を活かした、存続に対する危機感等を共有する場の創出が必要
- サポート体制の継続的展開 ●地域協働の取り組み促進

次のステップに向けた新たな目標と計画

- ・現在の地域公共交通総合連携計画は平成21年度に策定され、実証運行を開始してからも時間が経過している。また、これまでも計画に位置付けられた施策等を展開し、一定の成果を上げているものと考えられるため、次のステップに向けた新たな目標と計画を策定することが必要
- 新たな地域公共交通総合連携計画の策定

⑤アピールポイント(特に工夫した点)

無料お試し乗車券の配布による利用のきっかけづくり

- 新たな利用者を掘り起こすことを主な目的とし、きんちゃんバスに乗ったことの無い人が、一度の利用経験を通じて、きんちゃんバスを持続的に利用するきっかけとなることを期待し、毎年、無料お試し乗車券を配布
- 利用条件を「アンケートへの回答」とすることにより、無料お試し乗車券の効果を検証
- 属性、これまでのきんちゃんバスの利用の有無、無料お試し乗車券の利用回数、利用目的等を把握

無料お試し乗車券による効果

- これまでにきんちゃんバスを利用したことがなく、無料お試し乗車券を初めて使った人は・・・98人(新規利用者)
- 新規利用者の利用目的は「買い物・外食・娯楽」「公共施設への用事・利用」が多い

おもて面 きんちゃんバスをお試しください!

この機会にきんちゃんバスをご利用いただき、地域のため、あなたやあなたの家族の将来のために少しでも継続的に利用してきんちゃんバスを支えていってください!

配布期間 平成26年8月 1日(金)～平成26年8月30日(土)

うっ面 ちゃんバスのお得なきっぷがあります!

大人	220円	乗車券	1ヶ月	6,500円
小学生	150円	乗車券	3ヶ月	17,100円
小学生未満	100円	乗車券	3ヶ月	11,400円
75歳以上・未就学児	無料	乗車券	1ヶ月	3,200円
1名乗車(大人)	2,200円(12名)	乗車券	3ヶ月	8,800円
乗車券(大人)	1,000円(12名)	乗車券	3ヶ月	3,600円
乗車券(小学生)	700円(12名)	乗車券	3ヶ月	2,520円
乗車券(小学生未満)	500円(12名)	乗車券	3ヶ月	1,800円
乗車券(75歳以上・未就学児)	0円(12名)	乗車券	3ヶ月	0円

無料お試し乗車券、アンケートについてはお問い合わせください。

※市役所本庁舎機能移転期間(平成26年8月1日～8月31日)は、別途ご案内いたします。

TEL: (0567) 65-1111 内線363 FAX: (0567) 67-4011